



子どもからお年寄りまで安心して暮らせるまち 舞鶴を目指して

さまざまな分野で頑張る職員の声を集めました

平成26年4月採用 市職員を募集 舞鶴の未来を一緒につくろう

市役所の役割は、市民の皆さん一人ひとりに「住んで良かった」、「これからも住み続けたい」と感じていただけるよう、生活や仕事などに関わるさまざまな分野で、条件や環境を整えることです。市役所で働く職員の仕事の原点は、「市民の皆さんの役に立ちたい」、「もっと元気な街にしたい」という思いであり、この思いこそが、市民の皆さんと市役所をつなぐ「絆」であると考えています。地域で今、何が起きているのか、市民の皆さんは、何を望んでおられるのかを常に考え把握し、地域の抱えるさまざまな課題の解決に向けて市民の皆さんとともに知恵を絞り、汗をかくことができる人材を求めています。



舞鶴市長
 多々見良三

市役所が目指す「組織像」
 市民に信頼され、市民の役に立つ市役所

市職員が目指す「職員像」

- ◆市民の中に入って、地域の課題を見つけ、市民とともに考え、解決に向け積極的に行動する職員
- ◆職員一人ひとりが、専門性や得意分野を持ち、自らの特性も最大限に発揮し、市民の信頼に応える職員
- ◆社会情勢の変化に即応した改革意識を持ち、仕事への情熱と柔軟な思考のもと、市役所と仕事を変革できる職員



子ども達の未来につながる環境づくりを

今年4月から近所の男の子が、ピカピカのランドセルを背負って小学校に通い始めました。その姿を見たとき、今の仕事への責任とやりがいを感じました。私の仕事は、市内の幼稚園、小中学校に通う子ども達が思う存分に遊び、遊び、考え、活動できるような学習環境を整備することです。そのため学校を訪問し、子ども達の様子を見たり先生方と相談したりします。裏方として主役を支える素敵な仕事です。



安全で住みよいまちをつくる責任を胸に

公共工事の設計や積算、現場監督、そして道路や河川の維持管理が私の仕事です。舞鶴の未来をつくり、夢が実現できる、とてもやりがいのある仕事です。市民の皆さんから喜びの声をいただいたときは、とても嬉しかったです。私は民間企業から市役所に転職しました。そこで得たスキルを市民サービスの向上に役立てたいと思います。ふるさと舞鶴のため、ともに力を合わせて頑張りたいです。



市民の生命と財産を守るプロフェッショナル

火災予防や災害発生時の消防車両の運転操作、防災訓練が私の仕事です。初めて火災現場に出動したとき、先輩から指示されたことをするのに精一杯で、周りの状況を把握する余裕はありませんでした。消防に関わる専門性を深め、自らの特性も発揮して、市民から信頼を得る消防職員に成長したいと思っています。消防はチームワークが大切な仕事です。思いを共有できる仲間と仕事ができるのが楽しみです。



舞鶴を元気づけられるようアグレッシブに

採用後は子ども育成課に配属され、保育に関わる仕事をしています。福祉行政に携わることで、市民の目線に立つことの大切さを学ぶことができました。現在は内閣官房地域活性化統合事務局（東京都）に派遣され、構造改革特区制度や総合特区制度によって地域の活性化を推進する業務に携わっています。全国から集まった優秀な職員から刺激を受けています。皆さんと舞鶴の活性化に向け働ける日が楽しみです。

